

政策 02 保健・福祉・医療に関する政策

施策 06 セーフティネットの推進

あるべき姿

生活困窮者の相談支援体制の適正実施に努め、生活の支援を図られています。

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者の自立支援

指標	生活困窮者からの相談数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	243	198	154	380	☔ (低下)
評価	<p>(状況)生活困窮者からの相談数は、基準値(243件)と比較して、89件減少しました。相談件数が年々減少していますが、今後においても制度の周知や関係部署等と連携をとりいつでも相談できるよう努めます。</p>					対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						■ ■ ■ (低)

基本事業01 生活困窮者の自立支援

指標	自立支援プランで改善が見られた終了者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	8	8	3	15	☔ (低下)
評価	<p>(状況)自立支援プランで改善が見られた終了者数は、基準値(8人)と比較して、5人減少しました。</p> <p>(要因)相談内容や相談者の事由により長期化していることが挙げられます。今後も、懇切丁寧な相談体制を整えます。</p>					対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						■ ■ ■ (低)

基本事業02 生活保護と自立への支援

指標	生活保護受給世帯数（世帯）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	602	654	665	780	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況)生活保護受給世帯数は、基準値(602人)と比較して、63世帯増加しました。</p> <p>(要因)高齢化社会の急速な進展により、年金等社会保障制度の適用を受けられない高齢者の貧困世帯が微増傾向にあることが挙げられます。そのため、被保護者年金申請支援業務を社会保険労務士に委託し、生活保護受給者の年金記録を精査し、申請業務を支援することで、59の方が今年度新たに年金を受給しました。年金受給権以外の生活に困窮する方の相談にも懇切丁寧に対応し、みんなが安心して生活できるよう努めます。</p>					対前年度
		☁ (横ばい)	目標達成度			
						■ ■ ■ (中)

基本事業02 生活保護と自立への支援

指標	自立による生活保護廃止世帯数（世帯）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	12	24	20	20	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況)自立による生活保護廃止世帯数は、基準値(12人)と比較して、8人増加しており、前年度とはほぼ同様の結果となりました。</p> <p>(要因)就労は経済状況と連動するものであり、今後は就労による自立廃止は減少傾向にあります。また、経済状況の変動により働く環境もこれまでの雇用状況が継続する業種が少なくなったときは、新しい雇用が創出されるまで、労働環境条件の改善は難しいと見込まれます。</p>					対前年度
		☁ (横ばい)	目標達成度			
						■ ■ ■ (中)